

乗降室内部(1号機)



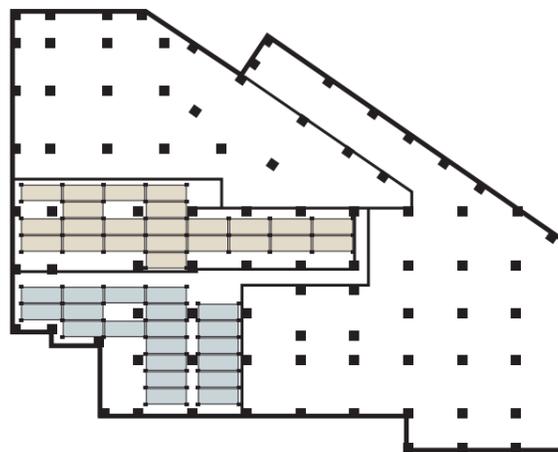
乗降室内部(1号機)



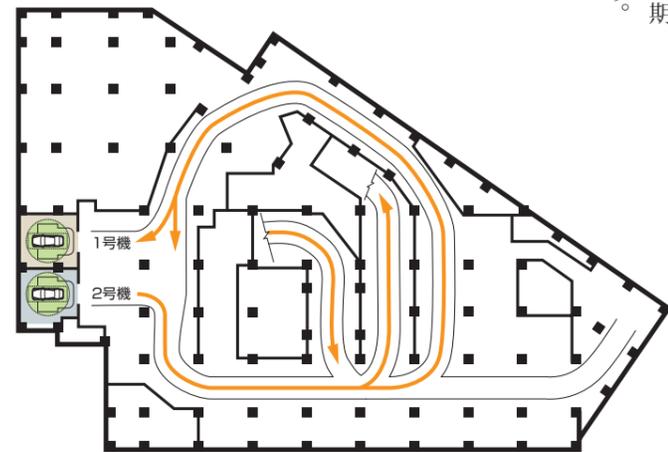
格納部(1号機)



格納部(1号機)



据付階(地下2階)平面図



乗込階(地下1階)平面図



ゼオヨコハマ フロント 外観



B1階\_乗降室



オートドア開閉時(1号機・2号機)

**【建築概要・規模】**

- 建築主 / 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合
- 敷地面積 / 6,687.15㎡ ■延床面積 / 79,082.18㎡ ■構造規模 / 地上43階、地下2階
- 設計 / 株式会社松田平田設計・株式会社UG都市建築・株式会社東急設計コンサルタント 設計共同企業体
- 施工 / 株式会社大林組

**【駐車設備概要】**

- 機種 / フレキシブルパーク(水平循環方式)
- 型式 / 1号機 FLX1LSH3-58(9) FDHT-B 2号機 FLX1LSH3-49(9) FDHT-B
- 収容車サイズ /
  - 1号機 大型車(20台)全長5,300mm×全幅1,950mm×全高1,550mm 重量2,500kg
  - ハイルーフ車(38台)全長5,300mm×全幅1,950mm×全高2,000mm 重量2,500kg
  - 2号機 大型車(17台)全長5,300mm×全幅1,950mm×全高1,550mm 重量2,500kg
  - ハイルーフ車(32台)全長5,300mm×全幅1,950mm×全高2,000mm 重量2,500kg
- 収容台数 / 107台(大型車37台、ハイルーフ車70台)

機械式駐車設備 ● 納入事例  
THE YOKOHAMA FRONT  
(ゼオヨコハマフロント)

**都心にいながら、都市を俯瞰する！  
これからの横浜を牽引する、  
横浜駅直結の世界水準タワマン**

日本で初めての「国家戦略住宅整備事業」に認定された「横浜駅きた西口鶴屋地区第一種市街地再開発事業」

国家戦略住宅整備事業は、「産業の国際競争力強化および国際的な経済活動の拠点形成」を目的に、住宅整備を促進する事業です。この物件は、グローバル企業の就業者支援に必要な機能が併設され、防災・環境性能にも優れた建物になっています。住宅部分は、従来よりも天井が高い居室、段差がない玄関などのハード面。多言語対応コンシェルジュサービスの提供など、居住者が快適に暮らすための提案、サポートが充実しています。

「ゼオヨコハマ フロント」全体は、地上43階建ての複合施設です。総戸数459戸の共同住宅、店舗、ホテル、サービスアパートメントなどで構成されています。

役割を果たす一助につながる「ゼオヨコハマフロント」の誕生。  
全国から人々が訪れ、行き交う横浜の玄関口である横浜駅前(FRONT)で、唯一無二の確かな(THE)シンボルとなり、横浜らしさを生み出していく新しい存在として、威風堂々と完成いたしました。

**快適性と安全性を  
地下駐車場にも**

地下駐車場についても不特定多数の利用者に快適な使用をサポートする為に、地下の限られた空間に機械式駐車設備を2基設置。いずれも3

最上階(地上42階)には複合施設である「Vlaag yoko hama (フラグヨコハマ)」を開業。会員制ワーキングラウンジやイベントスペース「Vlaag yoko hama Hall & Studio」、プライベートオフィスを備える開放的なホールです、フラグヨコハマの名には、「未来の兆し(=Vlaag)」溢れるクリエイティブラウンジとして、出会った仲間と明るい未来へ向かう第一歩を支援したい、という想いが込められています。

つねに先進的で、多様な人々が交流する、横浜駅きた西口エリア。この街の幅広いニーズへ応えられるように、店舗やクリニックモールなどの施設も存在しています。

明治以来、横浜は国際都市として発展し続けてきました。今後も変わらず層のうち2層はハイルーフ対応で、ハイルーフ車を多く収容できるようになっております。

駐車場までの導線も入口と出口で分かれており、スムーズな出入りが可能となっております。地下の共有スペースであり、利用者が安心感を感じることができる駐車場の条件として、利便性と安全性は必須です。ICカードを使用した操作による利便性の向上に加え、180度旋回する旋回装置を内蔵することで、車のスピーディーな前進入出庫を実現しています。さらに段差の少ないフラットな乗降スペースなど、乗降時の安全性や快適性に配慮された「フレキシブルパーク」が設

置されることで、利用者のそうした期待にお応えできると言えるでしょう。